

火山噴火予知連絡会 第3回草津白根山部会 議事概要

1. 部会の概要

日 時 : 平成 31 年 3 月 19 日 (火) 13:30~16:30

場 所 : 気象庁本庁

部会委員: 野上部会長、石崎、石原、伊藤、大倉、木川田、北川、齋藤、
棚田、藤原、山本

2. 議事概要

草津白根山の現在の火山活動の状況について確認を行うとともに、各機関のこれまでの観測成果や今後の観測計画について情報共有及び意見交換を行った。概要は以下のとおり。

○草津白根山の火山活動について

- ・2月27日に開催された第143回火山噴火予知連絡会以降の観測データも含めて検討し、当該連絡会と活動評価に変わりがないことを確認した。

○各機関の観測の実施状況・成果と今後の観測計画について

- ・各機関の第2回部会(平成30年3月開催)以降の観測成果や今後の観測計画について情報共有を行った。
- ・GNSSや傾斜計によって観測されている草津白根山の西側の膨張と湯釜付近や本白根山などの浅部の活動に関連があることが指摘された。
- ・草津白根山の西側で地震活動が続いており、草津白根山周辺の地震活動にも注意していく必要があることを確認した。
- ・これらの変化を捉えるために、引き続き各機関が連携して観測を行うとともに観測体制を強化する必要があることを確認した。

3. 今後の予定

- ・各機関の観測結果や計画について、引き続き随時情報共有を行う。
- ・草津白根山の火山活動について定期的に意見交換、議論するとともに、火山活動に変化があった場合は、必要に応じて部会を開催し、臨機に火山活動の評価を実施する。